

Super SHIP

SUPER SHIP (SMOOTH&HIGH POWER SYSTEM スムース&ハイパワーシステム)とは...
従来のSHIPにさらに磨きをかけたSUPER SHIPは、よりパワフルで敏感な巻き上げ、軽く超スムーズな回転を実現したシステムです。

【スーパーシップコンセプト】

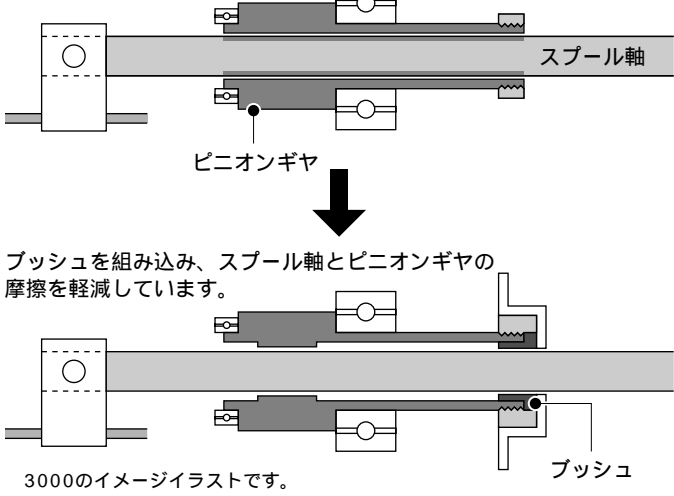
スーパーシップ

歯の形状を徹底的に研究し開発した大口径マスターギヤを搭載しました。そして独自のカタチを持つ歯面を、ラッピング処理により磨き上げることで、まるで吸い着くように滑らかで、軽い巻き上げが可能になりました。

フローティングシャフト

ハイパワーのポイントとなるフローティングシャフトは、今までリール回転時にこすっていたスプール軸とピニオンギヤの関係にスプール軸を支えるブッシュを組み込むことにより、摩擦を大きく軽減しています。

従来、ピニオンギヤの内側全体でスプール軸がこすっていました。



ブッシュを組み込み、スプール軸とピニオンギヤの摩擦を軽減しています。

3000のイメージイラストです。

テクニウムボディ

高剛性、高精度、高感度を誇る金属ボディです。コンバクトでしかも薄く、マスターギヤ部の出っ張りがないフラット感のあるボディが糸ガラムを防止します。

3次元曲面ローターシステム

糸巻き形状の調整

糸巻き形状の調整が可能のため、フロロカーボンのような堅い糸でのバックラッシュのトラブルを防止できます。

3次元曲面ローター

フラット化されたラインローラーとベールの接点、アームカム形状、そしてベール取り付けカムを内側から取付けることにより糸ガラムを防止しています。

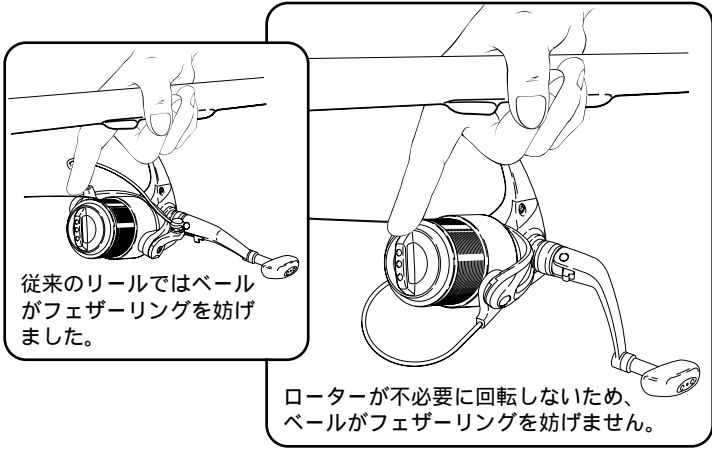
パワーローラーIII

細糸でもヨレない新型のローラーを採用、さらにトラブルの減少を図っています。(下段「パワーローラーIII」の項を参照)

POSITIVE&FRICTION BAIL

ポジティブ&フリクションベール

ベールを開くとカチッというクリック音がしてベール操作がスピーディに正確に行えます。キャストの時リターンしにくく、適度なフリクションがかかるため、ローターが回転してベールがじゃまになりフェザリング(サミング)の妨げになるのを防止します。



ウォータープルーフドラッグ

微調整が可能で操作性にすぐれたマイクロクリック機構付ウォータープルーフドラッグです。雨天や潮をかぶるなどの過酷な条件でもドラッグ性能が変化しません。

その他の機能

- スーパーストッパーII (ローラーベアリング1個内蔵)
- アルミダイキャストスプール
- ロングストローク・完全平行巻
- パイオグリップ
- ボールベアリング7個 (1000・2000・2500は6個)内蔵
- ロングライフスプリング
- チタンコーティングステンレススプールリング

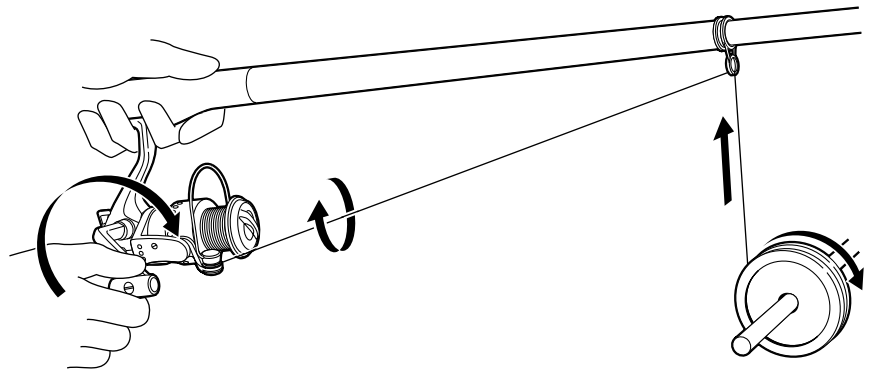


パワーローラーIII

竿の穂先やガイドへの糸がらみなど、トラブルの原因となる糸ヨレは主に糸を巻くときに生じます。そこでシマノのスピニングリールには、糸を巻くとき、糸のヨレを50%解消する新開発「パワーローラー」を採用。ライントラブルの減少を図りました。 1 (当社比、基準による) 2

パワーローラーIIIご使用上の注意

「パワーローラーIII」で快適な釣りを楽しんでいただくために、スプールに新しく糸を巻く場合は、下図の要領で糸を巻いて下さい。



図のようにリールを竿に取り付けます。
第1ガイドから糸を通してスプールに結びます。
ドラッグの締まっていることを確認して下さい。
糸が巻かれているポビンに割り箸のような軸になるものを通します。
それを誰かに持ってもらい、適度なテンションをかけてポビンを回転させながら糸を巻いて下さい。

1 糸ヨレについて
次のような外的条件によっては、ローラー性能が発揮できないため、糸ヨレが生じる場合があります。ご了承下さい。
もともと糸がヨれている時。
ドラッグが作動した時。
仕掛けが回転して、ヨリをかけている時。
新しい糸を巻く時、巻き方が不適切だった時。
非常に軽い仕掛けの巻きとりでローラーが回転しない時。
仕掛けを投げた直後の糸フケを巻きとる時。
その他、糸にテンションがかからずローラーが回転しない時。

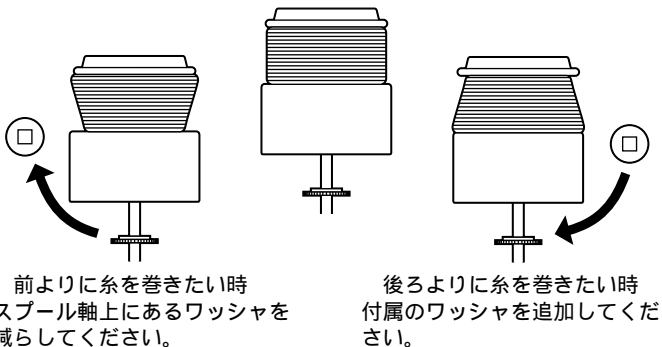
2 当社比、平均50%解消
磯釣、投げ釣、ルアーフィッシングなど異なる釣種の色々な使用条件下(仕掛け、ルアー、巻きとり具合)で1日釣をしたということを想定したテスト(当社品質規格)を行い、従来商品と比較したデータです。平均で50%解消していますが、使用条件によりその効果は多少異なります。

操作方法

糸巻き形状の調整方法

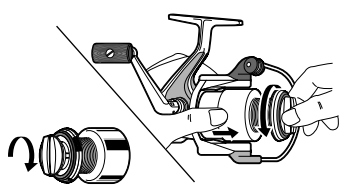
工場出荷時には、最適な糸巻き形状となる様に調整されていますが、付属の調整ワッシャを使用することで、下図のように糸巻き形状を好みに応じて調整することができます。また、フロロカーボンのような堅い糸でのバックラッシュのトラブルを防止するには、前より糸を巻くようにして下さい。

メーカー出荷時
(標準号数 例: 3000・3号)



スピールの脱着方法

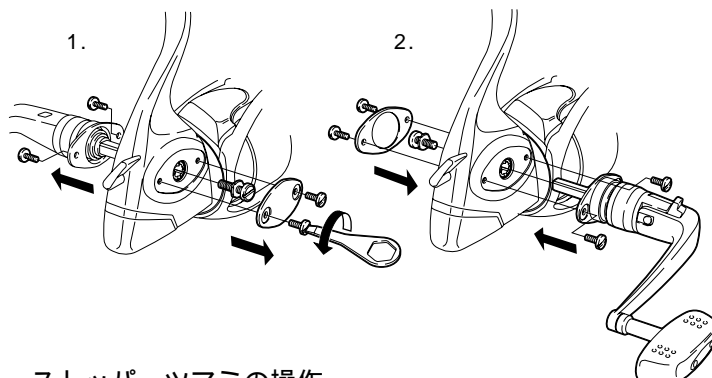
取りはずし方
ドラッグツマミを反時計回りにまわして下さい。



取り付け方
スピールをゆっくり回しながら、スピール軸が完全につきぬけるまで入れ、ドラッグツマミを時計まわりに回して締めつけてください。

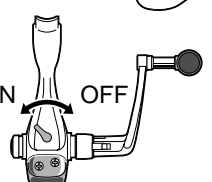
ハンドルの左右付け替え方法

- 図のように、ハンドルの根元を固定しているキャップのネジ2本を付属のリールレンチでゆるめてはずします。同様に反対側のロゴ入りキャップのネジ2本とそのキャップの下の中央にある1本のネジもはずして下さい。
- ハンドル側とロゴ入りキャップ側の部品の場所を入れ替えネジを締め直して下さい。



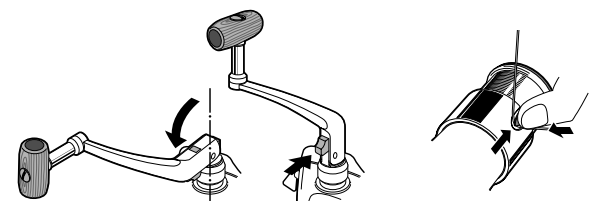
ストッパーツマミの操作

リール後ろから見てツマミが左に倒れている時 (ON)、逆転止めがかかり、ハンドルは正転方向にしか回りません。通常の巻取りやドラッグで魚とやりとりする時に使用します。同様に、ツマミが右に倒れている時 (OFF)、逆転止めが解除され、正転、逆転どちらの方向にも回ります。ハンドル逆転による糸の送り出しができます。



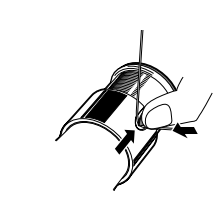
ワンタッチハンドルの折りたたみ方法

ハンドルをたたむ時は、ワンタッチボタンを押して、手前に倒して下さい。ハンドルをのばす時は、たたむ時と逆になります。



ラインホルダー

とめ方
人差し指でラインホルダーを押さえるようにし、爪の上に糸をすべらせてガイドしながらラインホルダーに糸を引っかけてください。



ドラッグの調整方法

ドラッグは、その強弱を調整することによって急激な魚の引きに対し、スピールが空転して糸切れを防ぐ機構です。

- 実際に使用される竿に本体をセットし、道糸をガイドに通して下さい。
- ストッパーONの状態、図のように糸を引き出しながら、ドラッグツマミの締めつけを調節して下さい。ドラッグ力は右に回すと強くなり、左に回すと弱くなります。
- 通常は糸切れを起こす寸前の力でスピールが空転し、糸が出ていくように調節して下さい。また遠投などする時は、必ずドラッグをよく締めつけてから投げするようにして下さい。ドラッグが滑って糸で手を傷つけることがあります。

